

Barracuda Load Balancer は悪意のある攻撃から負荷分散対象のサーバを守る IPS 機能を持った負荷分散装置です。

1 はじめに

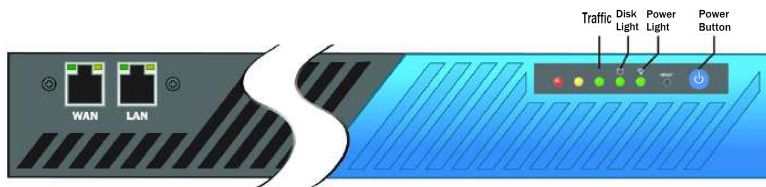
この資料は Barracuda Load Balancer の導入手順をまとめたものです。円滑に導入を行うために、作業を開始する前にこの手順書をお読みください。Barracuda Load Balancer の導入に必要なものは以下のとおりです：

- Barracuda Load Balancer
- AC 電源ケーブル（製品に同梱されています。）
- Ethernet ケーブル
- VGA モニター（推奨）
- PS2 キーボード（推奨）

2 物理的な導入

Barracuda Load Balancer の物理的な導入を行います。

1. Barracuda Load Balancer を 19 インチラックに設置するか、またはその他の安定した場所に設置します。
2. お使いのスイッチから Barracuda Load Balancer の前面にある WAN イーサネットポートに接続します。LAN ポートは基本設定が完了してから使用します。
3. VGA モニター、PS2 キーボード、AC 電源ケーブルを Barracuda Load Balancer に接続します。注意：AC 電源ケーブルを接続すると直後に電源が数秒間 ON になり、その後 OFF になります。
4. フロントパネルにある電源スイッチ(Power Button)を押して、電源を入れます。



3

IP アドレスの設定

モニターを接続している場合、はじめにブートメニューが表示され、ブート後に管理者コンソールのログイン画面が表示されます。

1. 管理者の ID/PASSWORD を用いて管理者コンソールにログインします。

- **Login:** admin
- **Password:** admin

```
barracuda login: admin
password:
```

2. IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバを正しく設定します。
3. 設定した内容を保存します。

モニターとキーボードを用いず、フロントパネルにあるリセットボタンを一定時間押し続けることで下記の IP アドレスを設定することができます。

IP アドレス	秒数
192.168.200.200	5 秒
192.168.1.200	8 秒
10.1.1.200	12 秒

*: WAN インターフェースは既存ネットワークに接続し、LAN インターフェースは負荷分散するサーバ専用を用意したスイッチに接続してください。

4

Barracuda Load Balancer の設定

Barracuda Load Balancer と同じネットワークに接続された PC から Web ブラウザにより以下の手順で設定を行います。

1. ブラウザのアドレスで `http://` に続いて「Barracuda Load Balancer の IP アドレス」、デフォルトの Web インターフェースの http ポート「:8000」を入力します。バラクーダの IP アドレスが 192.168.200.200 の場合 `http://192.168.200.200:8000` と入力します。
2. ユーザ名 : admin、パスワード : admin で管理者として Barracuda Load Balancer の Web 管理インターフェースにログインします。
3. 「基本設定」の「IP 設定」画面を開き、以下の手順を行います。
 - **LAN IP:** すべての実サーバが接続される LAN 用の IP アドレスとサブネットマスクを入力します。（* この IP アドレスは実サーバのデフォルトゲートウェイとなります）
4. 変更保存をクリックし、設定内容を保存します。

5 ファームウェアの更新

1. 「高度な設定」の「ファームウェア更新」を開きます。
2. 「今すぐダウンロード」をクリックします。更新やダウンロード中に電源を切らないでください。Barracuda Load Balancer の故障の原因になります。
3. 「高度な設定」の「ファームウェア更新」ページで「今すぐ適応」ボタンをクリックします。ファームウェアの適応が完了するには数分かかります。
4. 再起動の確認画面が表示されたら「OK」をクリックし、再起動します。
5. ファームウェアが適応された後、再び Web インターフェースにログインし、リリースノートを参照することを推奨します。また、ファームウェアの更新により機能が追加されている場合がありますので、設定項目を確認することをお勧めします。

6 管理者パスワードの変更

- セキュリティ上、デフォルトのパスワードから任意のパスワードに変更してください。パスワードの変更はブラウザからのみ実施できます。
1. 「基本設定」の「管理」で現在のパスワードと変更後のパスワードを入力します。
 2. 「パスワードの変更」をクリックします。

7 製品登録

「基本設定」の「ステータス」画面でエネルギー充填サービスが正常に提供されていることを確認します。「エネルギー充填サービスステータス」でエネルギー充填サービスが有効になっていることを確認して下さい。エネルギー充填サービスが有効になっていない場合には、ご購入頂いた販売代理店までお問い合わせください。

8 負荷分散サービスの設定

ルートバス構成では LAN インターフェース側のスイッチに負荷分散を行いたいサーバを接続します。サーバの IP アドレスは先ほど設定した LAN インターフェースの IP/サブネットと同じネットワークセグメントに設定し、デフォルトゲートウェイの IP アドレスは LAN インターフェースの IP アドレスを設定します。

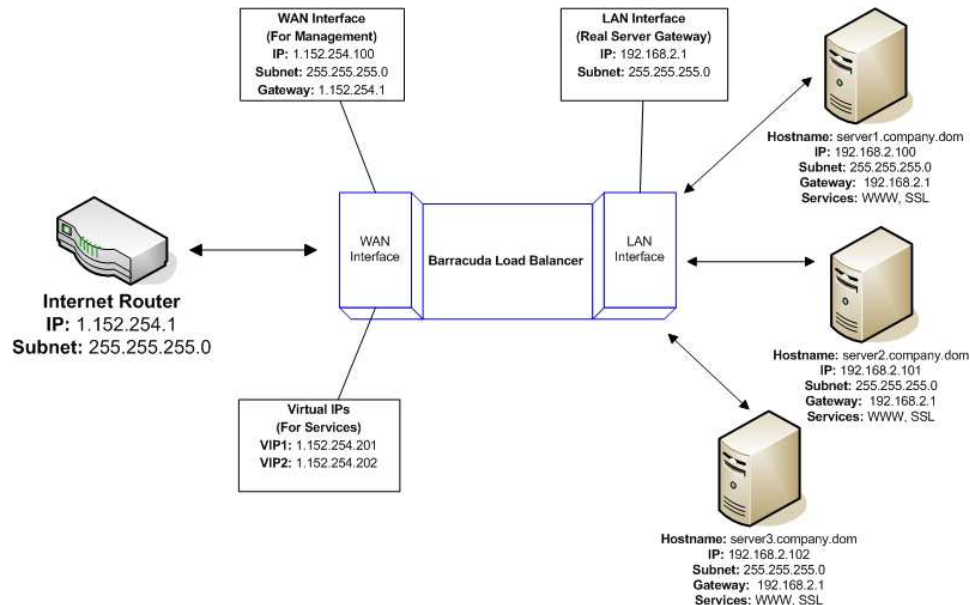
1. 「基本設定」の「サービス」を開きます。
2. 1つ目の設定項目では作成するサービス名を入力します。（これはユーザがそのサービス管理するためだけに使用され、負荷分散には影響ありません）
3. 次の項目ではそのサービス用に使用する仮想 IP アドレスを入力します。この IP アドレスは WAN インターフェース側に設定され、負荷分散されたサービスに接続するた

めに使用されます。また、サービスで使用されるポートを定義します。サービスが複数のポートを使用する場合、ポートには「ALL」を設定します。

4. 最後の「実サーバ」の項目にはアプリケーションやコンテンツを提供するサーバの IP アドレスを入力します。ルートバスではこれらのサーバは仮想 IP アドレスとは別のネットワークセグメントである必要があります。また、デフォルトゲートウェイにはロードバランサの LAN インターフェースの IP アドレスを設定します。
5. 「追加」をクリックして設定完了です。

9 接続テスト

仮想 IP アドレスと同じネットワークのマシンから先ほど設定した仮想 IP アドレスのサービスに接続できるかを確認してください。



*: 構成方法の詳細については Barracuda Load Balancer 管理者ガイドを参照ください。これは <http://www.barracuda.com/documentation> からダウンロードできます。また、FAQ やその他の Barracuda Load Balancer のセットアップのための Tips については <http://forum.barracuda.com> をご確認ください。